

令和7年度

事業報告書

公益財団法人山梨県健康管理事業団

令和7年度 事業報告

山梨県健康管理事業団は、県民の皆様の健康の維持・増進を図るため、健康増進法等関係法令に基づく健診・検査事業、公衆衛生に関する知識の普及・啓発事業を実施し、市町村等の顧客ニーズに応え、より効果的に事業を推進している。

また、公益財団法人として当初の設立目的と存在意義を踏まえ、精度の高い健診・検査事業を実施するとともに、県の健康増進計画「健やか山梨21」と連携し、健康長寿の延伸・健康格差の縮小の実現に努めた。

健診業務については、各自治体と連携し受診率の増加に向け受診勧奨に取り組むとともに、実施日数の短縮、1日当たりの受診者数を増やすなど、効率的な健診の実施に努めた。

さらに旧甲南支所実施の市町村教委の教職員について事業団本部にて結果表・請求書発行までを行い、一部の企業を除き健診業務の統合を進めた。

職域健診については、一部の料金を改定し収入の確保に努めた。今後も事業団として一丸となって更なる職域の健診事業拡大を目指す。

普及啓発事業については、県や関係機関協力のもと街頭キャンペーンの実施や、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025甲府」に参画し、県民のがん予防や生活習慣病予防等への関心を高め、健康に関する意識向上に寄与した。

県民の健康増進のため、受診される県民の方々に満足度の高い健康診断の提供を目指し、日々職員の意識の向上を図りながら、公益財団法人として普及啓発活動に取り組んだ。

健（検）診の精度管理については、上部団体である結核予防会の胸部検診対策委員会精度管理部会の評価において、4段階中最高評価のA（優）を取得し、健（検）診精度の向上を図った。

I 健診・検査事業

事業団は公益財団法人として、各自治体、医師会等と連携する中で、県民の健康管理及び健康増進を目指し、感染症法、学校保健安全法、健康増進法、労働安全衛生法及び高齢者の医療の確保に関する法律などに基づき、事業所従業員、地域住民及び児童・生徒等を対象に、定期健康診断の他、生活習慣予防健診、特定健診などを、出張健診として、県内各地に所在する市町村、事業所及び学校他を対象に総合的に実施し、県民から一層信頼を得る機関として、より精度の高い健診・検査事業の推進に努めた。

1 特定健康診査・特定保健指導

(1) 特定健康診査

高齢者の医療確保に関する法律に基づく特定健診等を各医療保険者(市町村国保、被用者保険)及び広域連合を実施主体とする県下11市町村より委託を受け、40歳から74歳を対象とした特定健診 7,471人、75歳以上の後期高齢者の健診 4,243人、39歳以下の若年者の健診 535人合わせて12,249人の一般住民の健診を実施し、前年度と比較して375人減少した。

高齢化や人口の減少、人間ドック等の需要の高まりにより今後、減少が予想されるなか、各自治体と連携し、受診者増加に向けた受診勧奨等に取り組んでいく。

メタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当1,392人(11.36%)、予備群該当886人(7.23%)、非該当8,730人(71.27%)、判定不能1,241人(10.13%)であった。

【特定健康診査等 ①メタボリック判定】

年度	市町村数	受診者数	メタボリック判定							
			基準該当		予備群該当		非該当		判定不能 (項目不足)	
R 3	11	12,869	1,578	12.26%	1,135	8.82%	9,226	71.69%	930	7.23%
R 4	11	12,679	1,480	11.67%	1,070	8.44%	9,132	72.02%	997	7.86%
R 5	11	12,319	1,412	11.46%	972	7.89%	8,859	71.91%	1,076	8.73%
R 6	11	12,624	1,402	11.11%	961	7.61%	9,095	72.05%	1,166	9.24%
R 7	11	12,249	1,392	11.36%	886	7.23%	8,730	71.27%	1,241	10.13%
比較増減		▲ 375	▲ 10	-	▲ 75	-	▲ 365	-	75	-

【特定健康診査等 ②階層化判定】

年度	市町村数	受診者数	階層化(保健指導レベル)判定							
			積極的支援		動機づけ支援		情報提供		判定不能 (項目不足)	
R 3	11	9,722	290	2.98%	717	7.38%	8,715	89.64%	0	0.00%
R 4	11	9,327	250	2.68%	652	6.99%	8,425	90.33%	0	0.00%
R 5	11	8,722	205	2.35%	578	6.63%	7,939	91.02%	0	0.00%
R 6	11	8,608	206	2.39%	606	7.04%	7,795	90.56%	1	0.01%
R 7	11	8,003	204	2.55%	530	6.62%	7,268	90.82%	1	0.01%
比較増減		▲ 605	▲ 2	-	▲ 76	-	▲ 527	-	0	-

(2) 特定保健指導

特定健診を実施した11市町村のうち5市町から特定保健指導を受託し、積極的支援25人、動機づけ支援26人の指導を実施した。

【特定保健指導実施状況】

	積極的支援					動機づけ支援				
	R3	R4	R5	R6	R7	R3	R4	R5	R6	R7
上野原市	6	9	2	3	8	52	39	24	37	22
都留市	11	15	9	5	4					
富士川町	6	3	7	7	5					
富士河口湖町	0	3	2	2	4	20	19	13	14	4
南部町	2	3	2	1	4					
合 計	25	33	22	18	25	72	58	37	51	26

※人数は初回面接終了者数を計上

特定保健指導の結果、最終評価終了者44人中、メタボ脱出者は4人(9.1%)であった。

【特定保健指導結果】

	積極的支援			動機づけ支援			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接終了者	21	4	25	10	16	26	31	20	51
途中終了者	7	0	7	0	0	0	7	0	7
最終評価終了者	14	4	18	10	16	26	24	20	44
メタボ脱出者	2	0	2	2	0	2	4	0	4
内服開始者	2	0	2	0	0	0	2	0	2

※メタボ脱出者：最終評価時、腹囲・BMIともメタボリックシンドローム判定基準未滿を達成した者

※内服開始者：最終評価終了者中、支援期間内に高血圧・糖尿病・脂質異常症の内服を開始した者

2 各種がん検診等

健康増進法に基づく各種がん検診については、厚労省の対策型がん検診における対象年齢、受診間隔等の見直しにより、受診者数は厳しい状況が続くと予想される。

特定健診等とがん検診を総合健診方式により、市町村、事業所等から委託を受け、実施に取り組んだ。

(1) 胃がん検診

県下15市町村の住民3,890人、県職員、県教職員及び事業所職員等2,221人、合せて6,111人の検診を実施し、前年度と比較して588人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は412人、要精検率6.74%であった。

追跡調査の結果精密検査を受診した者は284人、精検受診率68.93%で、精密検査結果は、がん発見数5人(発見率0.082%)であった。

【胃がん検診実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
R 3	15	7,911	666	8.42%	478	71.77%	5	0.063%	
R 4	15	7,332	517	7.05%	376	72.73%	8	0.109%	
R 5	15	6,582	493	7.49%	350	70.99%	4	0.061%	
R 6	15	6,699	483	7.21%	337	69.77%	1	0.015%	
R 7	15	6,111	412	6.74%	284	68.93%	5	0.082%	
内訳	市町村	15	3,890	281	7.22%	222	79.00%	5	0.129%
	職域等		2,221	131	5.90%	62	47.33%	0	0.000%
比較増減		▲ 588	▲ 71	-	▲ 53	-	4	-	

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和8年3月末 現在)

	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他疾患	異常認めず	計
R 3	120	21	2	276	50	469
R 4	107	31	1	199	30	368
R 5	106	19	3	184	29	341
R 6	106	8	1	186	29	330
R 7	102	14	2	184	25	327

※ その他疾患とは、胃炎、胃粘膜下腫瘍などをいう。

(2) 肺がん検診

県下11市町村の住民12,145人、県職員、県教職員及び市町村教職員等3,412人、合わせて15,557人の胸部X線検診を実施し、前年度と比較して379人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は289人、要精検率1.86%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は236人、精検受診率81.66%で、精密検査結果はがん発見数10人(発見率0.039%)であった。

また、喫煙者(喫煙指数600以上)等を対象とした喀痰細胞診は、住民、職域合わせて134人が受診し、精密検査を要する者は0名であった。

【胸部X線検診実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
R 3	11	16,845	140	0.83%	104	74.29%	5	0.030%	
R 4	11	16,739	120	0.72%	101	84.17%	4	0.024%	
R 5	11	16,028	228	1.42%	197	86.40%	12	0.075%	
R 6	11	15,936	276	1.73%	221	80.07%	6	0.038%	
R 7	11	15,557	289	1.86%	236	81.66%	6	0.039%	
内 訳	市町村	11	12,145	271	2.23%	220	81.18%	6	0.049%
	職域等		3,412	18	0.53%	16	88.89%	0	0.000%
比較増減		▲ 379	13	-	15	-	0	-	

【肺がん喀痰細胞診実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	市町村数	受診者数 (検体数)	判定不能 (検体不良)	異常認めず	要精検者数	精検受診者数	がん発見数	がん発見率
R 3	10	313	26	286	1	1	0	-
R 4	10	276	19	257	0	0	0	-
R 5	11	276	21	255	0	0	0	-
R 6	11	181	7	174	0	0	0	-
R 7	9	134	0	134	0	0	0	-
内 訳	市町村	9	62	62	0	0	0	-
	職域等		72	72	0	0	0	-
比較増減		▲ 47	▲ 7	▲ 40	0	0	0	-

(3) 大腸がん検診

県下11市町村の住民10,258人、県職員、県教職員及び事業所職員等 7,193人、合わせて17,451人の検診を実施し、前年度と比較して385人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は863人で要精検率4.95%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は452人、精検受診率は52.38%で、精密検査結果の内訳では、がん発見数16人(発見率0.092%)であった。

【大腸がん検診実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
R 3	11	15,981	756	4.73%	413	54.63%	12	0.075%	
R 4	11	15,966	682	4.27%	376	55.13%	16	0.100%	
R 5	11	15,781	734	4.65%	421	57.36%	16	0.101%	
R 6	11	17,836	892	5.00%	443	49.66%	30	0.168%	
R 7	11	17,451	863	4.95%	452	52.38%	16	0.092%	
内訳	市町村	11	10,258	547	5.33%	360	65.81%	12	0.117%
	職域等		7,193	316	4.39%	92	29.11%	4	0.056%
比較増減		▲ 385	▲ 29	-	9	-	▲ 14	-	

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和8年3月末 現在)

	大腸ポリープ	大腸憩室	痔核・裂肛	その他疾患	異常認めず	計
R 3	198	51	25	17	90	381
R 4	200	44	27	21	68	360
R 5	225	40	24	18	86	393
R 6	214	41	32	12	92	391
R 7	245	35	25	21	95	421

※ その他疾患とは、非腺腫性ポリープ、潰瘍性大腸炎などをいう。

(4) 乳がん検診

県下14市町村の住民7,510人、事業所職員等551人、合せて8,061人の検診を実施し、前年度と比較して118人減少した。受診者のうち無料クーポン対象者は155人であった。

受診者のうち、精密検査を要する者253人で要精検率3.14%であった。

追跡調査の結果、精密検査受診者は211人、精検受診率は83.40%で、精密検査結果は、がん発見数20人(発見率0.248%)であった。

検査方法の内訳は、マンモグラフィ検査のみ6,013人、乳腺超音波検査のみ2,029人、マンモグラフィ・超音波検査併用19人で、がん発見数20人の内訳は、マンモグラフィで17人、乳腺超音波検査3人であった。

【乳がん検診実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
R 3	14	8,396	216	2.57%	183	84.72%	14	0.167%	
R 4	14	8,184	257	3.14%	226	87.94%	13	0.159%	
R 5	14	8,098	231	2.85%	192	83.12%	29	0.358%	
R 6	14	8,179	189	2.31%	170	89.95%	21	0.257%	
R 7	14	8,061	253	3.14%	211	83.40%	20	0.248%	
内 訳	市町村	14	7,510	234	3.12%	201	85.90%	20	0.266%
	職域等		551	19	3.45%	10	52.63%	0	0.000%
比較増減		▲ 118	64	-	41	-	▲ 1	-	

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和8年3月末 現在)

	乳腺症	線維線種	乳腺のう胞	その他	異常認めず	計
R 3	20	26	40	19	61	166
R 4	19	22	58	28	83	210
R 5	18	25	36	26	53	158
R 6	24	20	26	17	62	149
R 7	22	19	32	33	82	188

※ その他疾患とは、乳管内乳頭腫、乳管拡張症などをいう。

【検査方法内訳】

(令和8年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
マンモグラフィ	6,013	232	3.86%	194	83.62%	17	0.283%
乳腺超音波	2,029	20	0.99%	16	80.00%	3	0.148%
マンモ+超音波	19	1	5.26%	1	100.00%	0	0.000%

(5) 腹部超音波検診

上腹部臓器の肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を検査し、15市町村の住民16,186人、事業所職員等844人合せて17,030人の検診を実施し前年度と比較して52人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は485人で、要精検率2.85%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は346人、精検受診率は71.34%であった。

精密検査の結果発見されたがんは、肝臓1人、胆のう0人、腎臓2人、膵臓2人、その他2人の合計7人(発見率0.041%)であった。

【腹部超音波検診実施状況】

(令和8年3月末 現在)

		市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率
R 3		15	16,395	541	3.30%	396	73.20%
R 4		15	16,973	490	2.89%	355	72.45%
R 5		15	16,771	417	2.49%	296	70.98%
R 6		15	17,082	454	2.66%	335	73.79%
R 7		15	17,030	485	2.85%	346	71.34%
内 訳	市町村	15	16,186	462	2.85%	341	73.81%
	職域等		844	23	2.73%	5	21.74%
比較増減			▲ 52	31	-	11	-

【臓器別がん発見数】

(令和8年3月末 現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	がん発見率
R 3	4	0	1	1	0	6	0.037%
R 4	6	2	4	0	2	14	0.082%
R 5	2	0	1	0	0	3	0.018%
R 6	3	1	3	2	2	11	0.064%
R 7	1	0	2	2	2	7	0.041%

【臓器別疾患数】

(令和8年3月末 現在)

	肝臓疾患	胆のう疾患	腎臓疾患	膵臓疾患	脾臓疾患	その他	異常認めず	計
R 3	88	71	35	111	1	28	42	376
R 4	81	45	33	104	2	19	34	318
R 5	60	54	27	79	1	25	30	276
R 6	89	47	26	103	1	17	25	308
R 7	79	60	34	100	3	7	40	323

※ その他疾患とは、胆のうポリープ、水のう胞などをいう。

(6) 前立腺がん検診(血液PSA検査)

県下11市町村の住民3,179人、事業所職員等712人、合わせて3,891人実施し、前年度と比較して52人増加した。

受診者のうち精密検査を要する者は177人で要精検率4.55%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は98人、精検受診率は55.37%で、精密検査結果の内訳は、がん発見数4人(発見率0.103%)で、前立腺がん疑いの者40人であった。

【前立腺がん検診実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	前立腺がん疑い	
R 3	10	3,616	225	6.22%	153	68.00%	8	0.221%	46	
R 4	10	3,811	237	6.22%	150	63.29%	18	0.472%	40	
R 5	10	3,501	186	5.31%	128	68.82%	14	0.400%	42	
R 6	10	3,839	213	5.55%	127	59.62%	8	0.208%	49	
R 7	11	3,891	177	4.55%	98	55.37%	4	0.103%	40	
内訳	市町村	11	3,179	153	4.81%	96	62.75%	4	0.126%	39
	職域等		712	24	3.37%	2	8.33%	0	0.000%	1
比較増減		52	▲ 36	-	▲ 29	-	▲ 4	-	▲ 9	

【精検結果内訳・がん以外】

(令和8年3月末 現在)

	前立腺肥大	その他	異常認めず	計
R 3	62	4	28	94
R 4	54	5	30	89
R 5	39	2	26	67
R 6	42	3	19	64
R 7	35	3	13	51

※ その他疾患とは、前立腺肥大症などをいう。

(7) 結核検診

市町村住民、事業所職員及び高校・大学生等、合せて37,764人の検診を実施し、前年度と比較して740人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は1,229人、要精検率3.25%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は869人、精検受診率70.71%で、結核患者の発見はなかった。

【結核検診実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	結核患者数	その他疾患	異常認めず
R 3	37,757	1,733	4.59%	1,277	73.69%	0	920	357
R 4	37,388	1,350	3.61%	943	69.85%	0	586	357
R 5	36,747	1,387	3.77%	1,052	75.85%	0	713	339
R 6	38,504	1,457	3.78%	1,024	70.28%	0	685	339
R 7	37,764	1,229	3.25%	869	70.71%	0	530	339
比較増減	▲ 740	▲ 228	-	▲ 155	-	0	▲ 155	0

(8) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診については、全国健康保険協会(協会けんぽ)加入事業所等の職員を対象に実施し、受診者89人で、前年度と比較して26人減少した。

精密検査を要する者は3人で、精密検査を受診した者は1人、精検受診率33.33%であった。

【子宮頸がん検診実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
R 3	121	3	2.48%	1	33.33%	0	-
R 4	104	0	0.00%	0	-	0	-
R 5	74	1	1.35%	0	-	0	-
R 6	115	6	5.22%	3	50.00%	0	-
R 7	89	3	3.37%	1	33.33%	0	-
比較増減	▲ 26	▲ 3	-	▲ 2	-	0	-

(9) 骨粗鬆症検診

県下12市町村の住民2,832人の検診を実施し、前年度と比較して129人減少した。

受診者のうち、精密検査を要する者160人で要精検率5.65%であった。

追跡調査の結果、精密検査受診者は104人、精検受診率は65.00%で、精密検査結果は、骨粗鬆症66人であった。

検査方法の内訳は、D X A法1,806人、超音波法1,026人であった。

【骨粗鬆症検診実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	骨粗鬆症	骨量減少	その他	異常認めず	
R 3	12	3,953	85	2.15%	57	67.06%	26	19	1	9	
R 4	12	4,251	118	2.78%	73	61.86%	37	22	1	11	
R 5	12	4,488	101	2.25%	60	59.41%	32	17	0	8	
R 6	12	2,961	122	4.12%	84	68.85%	56	19	1	5	
R 7	12	2,832	160	5.65%	104	65.00%	66	25	1	12	
内訳	市町村	12	2,832	160	5.65%	104	65.00%	66	25	1	12
	職域等		0				-	-	-	-	
比較増減		▲ 129	38	-	20	-	10	6	0	7	

【検査方法内訳】

(令和8年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	骨粗鬆症
D X A法	1,806	158	8.75%	102	64.56%	66
超音波法	1,026	2	0.19%	2	100.00%	0

3 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づき市町村職員・教職員、県職員・県教職員、大学(健康科学大学、県立大学、甲府看護専門学校等)、民間企業等を合わせて22,155人の健診を実施し、前年度と比較して292人減少した。

【職域健診実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	市町村 職員	市町村 教職員	県職員	県教委 職員	大学・ 専門学校	民間 企業等	合計
R3	521	1,733	2,485	1,754	2,814	8,616	17,923
R4	521	1,750	2,455	1,729	2,735	8,325	17,515
R5	492	1,777	2,248	1,808	2,699	8,608	17,632
R6	496	3,511	2,234	1,845	2,535	11,826	22,447
R7	495	3,509	2,201	1,798	2,462	11,690	22,155
比較増減	▲ 1	▲ 2	▲ 33	▲ 47	▲ 73	▲ 136	▲ 292

4 学校保健安全法に基づく検診検査

(1) 心臓検診

県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒の心電図検査12,969人を実施し、前年度と比較して、心電図検査が495人減少となった。

少子化に伴う児童・生徒数の減少が主な原因と考えられる。

心電図検査の要精検者数は507人、要精検率3.91%であった。

【心電図・心音図検査実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	心電図検査			心音図検査		
	受診者数	要精検者数	要精検率	受診者数	要精検者数	要精検率
R 3	8,182	379	4.63%	4	0	0.00%
R 4	9,136	411	4.50%	3	0	0.00%
R 5	8,895	407	4.58%	0	0	-
R 6	13,464	578	4.29%	0	0	-
R 7	12,969	507	3.91%	0	0	-
比較増減	▲ 495	▲ 71	-	0	0	-

(2) 寄生虫卵検査

県立学校、市町村小学校の児童、保育園等の幼児、職員合わせて359人の検査を実施し、前年度と比較して333人減少した。

寄生虫卵検査の保卵者数は0人であった。

【寄生虫卵検査実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	受検者数	保卵者	寄生虫卵内訳		保卵率
			蟯虫	その他	
R 3	2,573	2	2	0	0.078%
R 4	2,145	4	4	0	0.186%
R 5	2,045	0	0	0	0.000%
R 6	692	0	0	0	0.000%
R 7	359	0	0	0	0.000%
比較増減	▲ 333	0	0	0	-

(3) 尿検査

県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒及び保育園の幼児等60,687人の検査を実施し、前年度と比較して784人減少した。

少子化に伴う児童・生徒数の減少が主な原因と考えられる。

1次検査の陽性者1,946人(陽性率3.21%)のうち、2次検査を1,679人実施し、陽性者は411人(陽性率24.48%)であった。

【尿検査実施状況】

(令和8年3月末 現在)

	1次検査			2次検査		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率
R 3	43,729	1,440	3.29%	1,301	331	25.44%
R 4	42,741	1,301	3.04%	1,139	201	17.65%
R 5	41,291	1,226	2.97%	1,058	257	24.29%
R 6	61,471	1,733	2.82%	1,553	370	23.82%
R 7	60,687	1,946	3.21%	1,679	411	24.48%
比較増減	▲ 784	213	-	126	41	-

	1次検査 陽性者内訳					2次検査 陽性者内訳				
	糖	蛋白	潜血	蛋白 潜血	計	糖	蛋白	潜血	蛋白 潜血	計
R 3	84	320	988	49	1,441	18	54	243	17	332
R 4	87	318	856	45	1,306	18	35	143	7	203
R 5	125	283	771	55	1,234	30	28	187	16	261
R 6	126	370	1,077	42	1,615	38	83	220	9	350
R 7	119	399	1,363	71	1,952	32	53	308	18	411

II がん対策

「がん」は昭和58年以降、山梨県の死亡原因の第1位となり全死亡者の3分の1を占めており、日本人の2人に1人ががんに罹り、3人に1人ががんで死亡するとされている。

県は、平成24年4月から「山梨県がん対策推進条例」を施行し、がんの総合的な対策を推進している。

これに呼応して、健康管理事業団は県からの委託を受け「がん患者サポートセンター」の運営のほか、さまざまながん対策を行っている。

1 がん相談およびがんサロン

「がん患者サポートセンター」は医師の面接（要予約・不定期）や毎週火曜日に実施している保健師、ピア・サポーターの面接及び電話による相談、就労に関する社労士（毎月第3火曜日）による相談等がん患者やその家族が抱える様々な相談に対応するべく窓口を設け、相談者の不安や悩みの解消に努めた。

令和7年度はがん患者・家族の交流場として、「対面によるがんサロン」を3回、「オンラインによるがんサロン」を3回、「出張がんサロン」を5回開催し、参加者による意見交換を行った。

- 医師相談 0名
- 保健師相談 26名
- 社労士相談 0名
- ピア・サポーター相談 11名
- がんサロン 50名（内対面10名、オンライン15名、出張25名）

2 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025甲府

8月29日（金）午後3時～8月30日（土）午後3時まで山梨県立大学池田キャンパスにおいて、県立大学と共催でリレーウォーク等によるチャリティーイベントを行った。

今回は10回目を迎え、24時間での夜越えを行う開催とした。

開催経費を除いた募金、広告料等は全額（公財）日本対がん協会に寄付され、寄付金は「がん患者や家族の支援」に向けて、がん新薬開発等の研究助成、若手医師の育成、がん相談の拡充、がん検診率向上のための啓発活動等「がん征圧」のために使われる。

- 主催 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025 甲府実行委員会
公益財団法人日本対がん協会
- 参加者 580名
- 募金額 1,173,802円

3 受診率向上のための普及啓発活動

- **がん征圧月間街頭キャンペーン**

令和7年 9月 9日（火） 甲府駅南口周辺 参加者スタッフ12名

- **結核・呼吸器感染症予防街頭キャンペーン**

令和7年 9月25日（木） 甲府駅南口周辺 参加者スタッフ12名

- **県民の日記念行事**

令和7年11月16日（日） 小瀬スポーツ公園 参加者スタッフ 8名

III 普及啓発活動

1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発とがん検診の推進を図るためラジオCM放送と新聞広告の掲載を行った。

9月9日に甲府駅南口周辺において、県、県細胞検査士会、事業団が運営するがん患者サポートセンターで相談にあっているがん経験者の協力のもと、がん検診啓発のチラシ付フィルターコーヒーを配布し、がん征圧月間の周知とがん検診受診率向上に向けた街頭キャンペーンを行った。

そのほか、県下全市町村、医療機関、関係機関等にごがん予防知識啓発用ポスター及び禁煙ポスターを配布した。

2 結核・呼吸器感染症予防街頭キャンペーンの実施

「結核・呼吸器感染症予防週間」（9月24日～30日）に、全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、9月25日にJR甲府駅南口周辺において、県、甲府市、県愛育連合会の協力のもと、結核予防普及啓発資材及び絆創膏付「STOP結核！」のロゴ入りポケットティッシュの配布による結核習慣予防街頭キャンペーンを実施した。

3 講演会の開催

「運動と健康」～笑顔の繋がりが生む効果～をテーマに、ヴァンフォーレススポーツクラブ代表理事 長田圭介 氏・ヴァンフォーレ甲府クラブアンバサダー 小椋祥平 氏による講演会を開催した。

身体を動かすことの意義や効果、簡単な運動の紹介、栄養の摂取方法など「運動と健康」に焦点を当て健康寿命の延伸を目指す機会した。

令和8年3月5日（木） 山梨県立図書館 2階 多目的ホール 出席者 60名

4 各種イベントへの参加

県や関係機関が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、結核・生活習慣病予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを実施し、県民の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。

- 「第38回県民の日記念行事」 県主催

令和7年11月16日（日） 小瀬スポーツ公園

- ・ ピア・サポーターによる「がんサロン」の実施 （4件）
- ・ 乳がん視触診モデル体験
- ・ 骨密度検査の実施 （101名）
- ・ 各種啓発資材等の配布

5 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、特定健康診査や各種がん検診の正しい知識の普及啓発に努めた。

IV 研修事業

- 1 当事業団は(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会、(公財)予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。

各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

名 称	開催月日	参加数
【結核予防会】		
令和7年度結核予防会関東甲信越支部ブロック会議 [山梨県]	12月5日	13 人
令和7年度結核予防会支部事務局長研修会・事務連絡会議	1月30日	1 人
第30回結核予防関係婦人団体中央講習会	2月25～26日	2 人
第77回結核予防全国大会・支部長会議 [愛媛県]	3月17～18日	1 人
【日本対がん協会】		
2025年度全国事務局長会議	7月17日	1 人
2025年度がん征圧全国大会 [兵庫県]	9月18～19日	1 人
令和7年度日本対がん協会関東甲信越支部連絡協議会 [群馬県]	11月14日	2 人
【予防医学事業中央会】		
全国運営会議	7月14日	1 人
情報統計研修会	8月28～29日	2 人
第70回予防医学事業推進全国大会 [東京都]	11月6～7日	1 人
令和7年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議 [栃木県]	11月28日	4 人
令和7年度全国業務研修会 [千葉県]	2月12～13日	2 人
令和7年度特定健康診査保険指導研修会	2月19～20日	1 人

- 2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会等に職員を参加させた。

名 称	開催月日	参加数
【健診部健診課検査係】		
乳房超音波技術認定更新講習会	7月26日	1人
日本超音波医学会 第37回関東甲信越地方会学術集会	9月27～28日	1人
第28回初心者のための腹部超音波検査技術講習会	2月14日	1人
タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会	1月25日 2月23日	3人
日本臨床検査精度管理調査報告会	3月13日	1人
XRシリーズメンテナンストレーニング	3月17日	1人
【健診部健診課放射線係】		
胃部X線読影判定講習会（オンライン）	4月1日～5月31日	1人
肺がんCT検診認定技師更新講習会（オンライン）	8月7日～8月19日	1人
結核予防会 胸部画像精度管理研究会	12月23日	2人
胸部症例検討会	2月18日	7人
マンモグラフィ症例検討会	2月26日	7人
肺がん検診従事者講習会	3月5日	7人
肺がん検診読影講習会	3月10日	5人

- 3 県内9検診機関等で構成する各検診機関の情報共有・情報交換を目的とした「検診実施機関情報交換会」が令和8年1月9日に山梨県厚生連健康管理センターに於いて開催され、2026年度協会けんぽ人間ドックの申請状況、健診における事前送付物（資料・キット等）の返送状況、今後の検査料金について意見が交わされた。

V 会議の開催

1 理事会・評議員会

(1) 令和7年4月28日 第1回「評議員会」 (決議省略)

評議員の選任や理事の選任について可決承認された。

(2) 令和7年6月4日 第1回「理事会」 於 山梨県医師会3階会議室

令和6年度事業報告や収支決算報告、評議員の選任につきその候補者、理事の選任につきその候補者、役員等の報酬、令和7年度定時評議員会の開催について審議が行われ、可決承認された。

(3) 令和7年6月19日 第2回「評議員会」 於 山梨県医師会1階多目的ルーム

令和6年度事業報告や収支決算報告、評議員の辞任及び選任、理事の選任、役員等の報酬について審議が行われ、可決承認された。

(4) 令和8年3月19日 第2回「理事会」 於 山梨県医師会3階会議室

令和8年度主要な取り組みや事業計画（案）、収支予算（案）、第5期経営計画（案）について審議が行われ可決承認された。

2 経営管理会議

安定した運営に資するため、各種事業の進捗状況及び経営状態の現状を把握し、新規事業の導入や効率的な事業推進方策を検討する、課長補佐以上で構成する経営管理会議を毎月開催した。

VI 救急医療情報センター運営業務

救急医療情報センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供に努めている。

令和7年度の救急案内件数は26,819件で、前年度と比較すると1,481件減少した。

インフルエンザ等の感染症の流行が、昨年度と比べると穏やかであったため、案内件数は昨年度比95%となった。

1 業務内容

- (1) 情報の収集業務（医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集）
- (2) 情報の提供業務（患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供）
- (3) 各種統計の作成業務

2 年度別案内件数

年度	H01	H02	H03	H04	H05	H06	H07
件数	2,561	3,693	4,446	4,618	5,405	5,905	6,358
H08	H09	H10	H11	H12	H13	H14	H15
7,585	7,133	8,186	9,465	11,292	12,940	12,267	12,900
H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
13,844	14,905	15,384	15,109	16,145	21,254	19,368	18,917
H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
19,333	18,642	19,687	19,656	19,334	18,589	18,279	17,944
R02	R03	R04	R05	R06	R07	合計	
12,230	14,231	16,070	19,642	28,300	26,819	518,436	

3 案内状況

種別		令和6年度	令和7年度
救急医療情報センター案内件数		28,300	26,819
受付時間別案内件数	深夜(0時～8時)	3,781	3,886
	日中(8時～18時)	17,360	15,993
	準夜(18時～24時)	7,159	6,940
診療科目別案内件数	内 科	15,218	12,792
	小 児 科	2,407	2,247
	外 科	1,683	2,042
	整 形 外 科	3,065	3,121
	眼 科	701	705
	耳 鼻 咽 喉 科	1,093	917
	歯 科	613	677
	脳 神 経 外 科	1,342	1,383
	皮 膚 科	1,066	1,161
	産 婦 人 科	132	153
	泌 尿 器 科	407	489
	精 神 神 経 科	78	86
	そ の 他	495	1,046

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。